

請 願 番 号	請願第7号
件 名	岐阜市小中学校の給食費無償化を求める請願
受 理 年 月 日	令和5年9月1日
紹 介 議 員	可児 隆、服部勝弘、田中成佳、堀田信夫、森下満寿美、 原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>学校給食は、健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎、基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会である。また、学校給食法や食育基本法などがあり、教育の一環ともなっている。加えて、子どもたちの給食への期待感や、みんなと一緒に食べる楽しさは、かけがえのないものであり、成長期にある子どもたちの健全な成長に大きな影響がある。</p> <p>ところが、昨今の度重なる物価高騰で、保護者のみならず教職員からも、給食費無償化を求める声が上がっており、独自に無償化に踏み切る自治体が増えている。</p> <p>岐阜県では、山県市、岐南町、揖斐川町、垂井町、七宗町、池田町の1市5町で小中学校の給食費無償化が実施されていることに加え、神戸町が中学校のみ無償化を実施しており、小学校においても無償化する予定である。</p> <p>しかし、自治体ごとに財政状況も異なり、無償化が実施できない自治体もある。自民党も今年3月にまとめた政府への提言で、全国の公立小中学校の給食費の無償化を上げている。無償化の実施が期待されるころではあるが、財源確保や実施時期が明確にされていない。</p> <p>以上のことから、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 国が給食費無償化を実施するまでの間、所得にかかわらず、先行して実施すること。</p>	
審 議 結 果	令和 5年 9月25日(月) 不採択